

課題名：果樹栽培の省力・高品質安定生産を可能にするスマート栽培管理支援システムの開発（令5～7）

内容：モモにおける収穫適期の判定は、樹上で袋を開き、果皮色の微妙な変化を目視で判断しますが、着果位置や品種の成熟特性、果実袋での外観の変化などを熟知しておく必要があり、経験が必要不可欠となっています。また、収穫作業は最も多くの作業時間を占めており、栽培面積拡大の制限要因となっています。そこで、音響振動装置（ゆびけん）によるモモの熟度判定法を活用した、収穫適期を予測できる技術の開発を目指します。



[果樹研究室HPへ](#)
[農業研究所HPへ](#)